

# アま市議会だり



<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>



ごみ袋で“簡単！かっぱ”作り（9月29日 七宝つどいの広場 防災教室にて）

9月定例会のあらまし	2ページ
平成28年度決算審査の概要	3ページ
一般会計補正予算	8ページ
視察研修報告	9ページ
市政を問う(11議員が一般質問)	11ページ
審議結果一覧	18ページ

# 9月定例会のあらまし

## 平成28年度決算10会計を認定

9月定例会を、8月28日から9月21日まで開きました。

平成28年度決算の認定について、所管の各常任委員会において会計ごとに慎重な審議を行い、本会議にて原案のとおり認定しました。

そのほか、市長から新学校給食センター整備事業に係る工事請負契約の締結や一般会計補正予算など10件が提案され、すべて原案のとおり可決しました。

また、請願3件、陳情3件を審議し、陳情3件を採択と決定。議員発議の意見書を5件可決し、25日間の会期を閉じました。

### 決

算の認定では、一般会計と特別会計を合わせた歳入総額489億5

270万円、歳出総額469億6417万円を認定。企業会計では、水道事業会計決算および病院事業会計決算を認定しました。(3ページから7ページに掲載しています。)

### 補

正予算は、一般会計で10億9095万2千

円を追加し、総額を289億735万3千円としました。追加された内容は、甚目寺南小学校の運動場が狭いため、隣接する土地を購入する施設整備費や資源ごみステーションの移設に伴う工事費、財政調整基金費などです。また、6つの特別会計に総額7億6994万5千円を追加しました。(8ページに掲載しています。)

### 土

地区画整理事業に伴う字の区域の変更について可決しました。変

更となるのは、七宝町秋竹三角および七宝町秋竹柏田の一部で、時期は平成30年9月の予定です。

### 市

道徳実7号線および30号線で周辺地域の

土地開発に伴う、認定区間の見直しによる終点の変更について可決しました。

### 新

学校給食センター整備事業に係る工事請

負契約の締結について可決しました。事業場所は東溝口3丁目100番地で、履行期間は平成29年10月2日～31年9月30日です。(8ページに掲載しています。)

### 道

路整備予算の拡充および補助率等のかさ

上げ措置の継続を求める意見書案と、北朝鮮の核実験およびミサイル発射に対し、政府へ国民を守るために必要な措置をとることを求める意見書案が議員より提出され、全員賛成で可決し、国の関係機関に提出しました。

### 一

般質問を、9月5日に行いました。11人の議

員が登壇し、市の行政全般について多岐にわたる質問をしました。(質問の内容は11ページから16ページに掲載しています。)



## 平成28年度各会計別決算額

区 分		歳入額	歳出額	
一 般 会 計		286億 6167万 7741円	276億 7511万 5243円	
特別会計	国民健康保険	112億 5903万 2790円	106億 528万 355円	
	土地取得	373万 8949円	373万 8949円	
	簡易水道事業	4913万 9502円	4349万 6390円	
	市営住宅管理事業	1億 1215万 8019円	1億 1056万 3064円	
	介護保険	保険事業勘定	52億 872万 2634円	49億 9220万 9128円
		サービス事業勘定	3164万 1867円	2569万 7747円
	公共下水道事業	17億 6472万 4415円	17億 399万 2966円	
	後期高齢者医療	18億 6186万 7029円	18億 407万 7241円	
合 計		489億 5270万 2946円	469億 6417万 1083円	
区 分		収入額	支出額	
企業会計	水道事業会計	収益的収支	8億 2416万 2439円	7億 1654万 3790円
		資本的収支	3億 2537万 8851円	6億 2448万 4405円
	病院事業会計	収益的収支	28億 5131万 4518円	30億 8901万 4504円
		資本的収支	1億 5109万 1000円	1億 7807万 5566円

# 平成28年度 各会計決算審査の概要

### 一般会計

### 主な質疑

#### 歳入歳出全般

**問** 経常収支比率について。前年比4・0%上昇した理由は、**企画財政部長** 市税をはじめ、経常的な一般財源収入が減少した一方、年々増加している扶助費などにより経常経費が増加したため。  
**財政課長** 円高に伴う企業業績の悪化や、平均株価の下落などがあり、配当割交付金や株式譲渡所得割交付金、地方消費税交付金などの県税交付金についても大きく減少したため。

#### 地域防犯灯設置費補助金

**問** 地区別の補助灯数は、**総務部長** 七宝地区69灯、美和地区192灯、甚目寺地区130灯。

#### 従来型防犯灯数とLED防犯灯数は

**安全安心課長** 平成29年9月現在の従来型防犯灯数は2461灯で、LED防犯灯数は2129灯。LED防犯灯普及率は46・4%。

#### 消防団運営費

**問** 充足率が不足しているが、**団員確保の努力は、安全安心課長** 区長とも相談し、各町内会に回覧をするなどをお願いをしている。また平成29年度は、成人式などでも啓発活動をしていく。

#### 住宅用太陽光発電システム設置費補助事業費

**問** 支給要件は。設置後、制度を知った場合の対応は。

**環境衛生課長** 市内に住ままたは居住予定の方で、1kW以上10kW未満の発電システムが対象。4月1日に募集を開始し、3月31日までに実績報告書を提出でき、申請時にシステム工事前であることが前提条件。また設置後については、さかのぼって支給はできない。

#### 既存住宅に設置の場合でもよいのか。

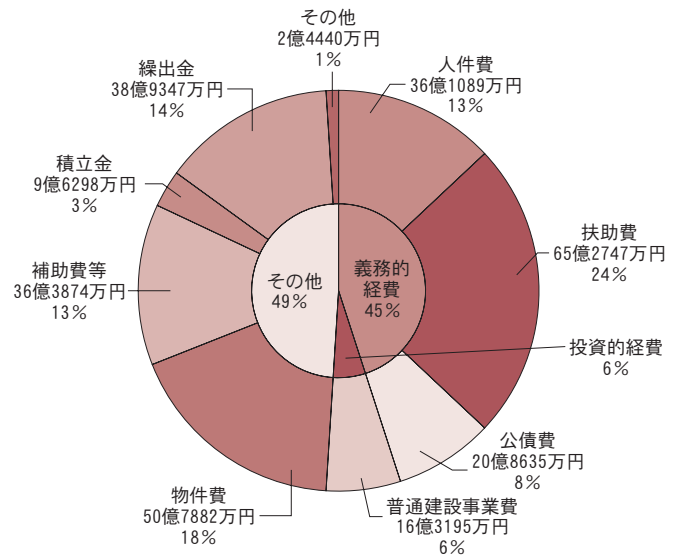
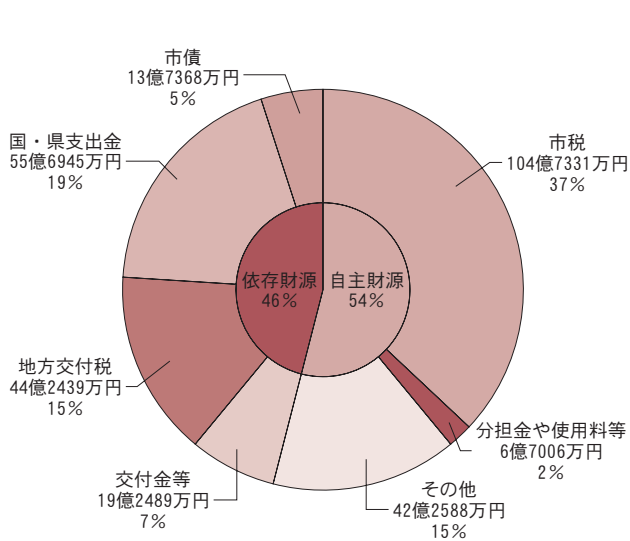
**環境衛生課長** 既存住宅でも新築住宅でも対象。

(5ページにつづく)

## 一般会計決算の内訳

**歳入 286 億 6168 万円**

**歳出 276 億 7512 万円**



用語	解説
自主財源	市が自主的に収入できる財源
依存財源	国や県の意思によって定められた額を交付される財源
地方交付税	公的サービスに格差が生じないよう、国が地方公共団体の財政力を調整するために交付するもの
国県支出金	国や県からの補助金など
市債	市が歳入の不足を補うために発行する債券
義務的経費	支出が法令などで義務付けられ、任意に削減できない性質の経費
投資的経費	各種社会資本整備など、支出の効果が長期にわたる経費
扶助費	障害者福祉や老人福祉、児童福祉など、社会保障制度の一環として、対象者に対して支給される経費
公債費	市が借り入れたお金の返済に使われる費用
普通建設事業費	道路、学校、公園などの公共施設の建設や用地取得などに必要な経費
物件費	人件費、扶助費、維持補修費などを除く、支出の効果が短期間で終わる費用
補助費等	各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など
繰出金	一般会計と特別会計、または特別会計間で支出される経費

(3ページからつづく)

## 使用済小型電子機器等回収事業費

**問** 回収ボックスは、コンビニエンスストアのどこに設置してあるか。  
**市民生活部長** 店内レジカウンター付近への設置をお願いしている。

**問** 持ち込むことのできる大きさは。  
**環境衛生課長** 手のひらに乗るデジタルカメラや携帯電話、タブレットを中心に回収している。万が一、ボックスに入らないようなものが持ち込まれた際は、甚目寺庁舎のリサイクルステーションを案内していただいている。

**問** リサイクルステーションとコンビニエンス

ストアで回収した重量と比率は。

**市民生活部長** 回収した再資源化できる重量の合計は、2万5730キログラムのリサイクルステーションでの回収がほぼ全体を占め、コンビニエンスストアの回収ボックスは量よりも市民へのPR効果を期待する。

**問** 費用対効果を考えるのと金額が高いのでは。

**環境衛生課長** 回収した小型家電の総重量は1年間で115トン。1トン当たり11万6698円の処分費が掛かるため、約1300万円の削減ができたということで、費用対効果は期待できたと考える。

## 生活保護扶助費

**問** 被保護者552世帯。この他に生活保護の申請や申請相談は何世帯か。

**福祉部長** 28年度実績で128世帯から相談があり、うち97世帯からの申請により88世帯が生活保護を開始している。

## ファミリィサポートセンター事業費

**問** 対象年齢は。  
**子育て支援課長** 小学校6年生まで。

**問** 提供会員数64人の地区ごとの内訳は。

**子育て支援課長** 七宝地区9名、美和地区17名、甚目寺地区20名、大治町18名。

**問** 援助活動件数1004件のうち上位3番の活動内容は。

**子育て支援課長** 子どもの習い事などの援助が462件、保育所・幼稚園の子どもの送迎が212件、保護者などの短時間

臨時的就労の際の子どもへの援助が60件。

## 児童クラブ費

**問** 地区別の待機児童の人数と解消予定について。  
**子育て支援課長** 平成29年6月現在、美和小学校区で13人、甚目寺小学校区で24人。待機児童の解消に向け小学校や学校教育課と、児童クラブ室に活用できる部屋の調査および協議を行っている。

## 病児病後児保育事業費

**問** ①定員6名だが、利用率の推移は。②平均利用期間は。③主な病状、病気は。④庁内器具費や機械器具費の机やテレビはリースなのか購入したのか。

**子育て支援課長** ①1日の最大利用者は4名。②平均2日。③風邪が延べ34名、インフルエンザ

が延べ30名、その他胃腸風邪や腹痛など。④購入をした。

## 高齢者在宅福祉サービス事業費

**問** 市内にひとり暮らしの高齢者は何名か。  
**高齢福祉課長** 28年度実績で2773名。高齢者のみの世帯人数は、6921名。

**問** 緊急通報システムとは。

**高齢福祉課長** ひとり暮らしの高齢者や障害者手帳3級以上の方、要介護4以上の方がみえる高齢者のみの世帯などが対象で、急病の場合に電話で救急車を呼ぶことができ、2週間に1回だが安否確認をしている。また今年度から、困った際の駆けつけ事業を追加した。電話に取り付ける形と首に

かけて押す形で対応している。

## 木造住宅耐震化促進費

**問** 当初予算の約4割減額補正し、耐震診断30件耐震改修工事6件、耐震シェルター設置7件。制度の周知不足では。

**建設産業部長** 広報やホームページ、チラシでの情報提供や、総合防災訓練会場においてブースでの啓発・普及に加え、過去に無料耐震診断を受けた方を対象にダイレクトメールを新たに実施し、前年度実績を上回るなど一定の効果があった。今後も耐震化促進に向けて、啓発に取り組んでいく。



(6ページへつづく)

(5ページからつづく)

## 企業誘致推進 事業費

**問** 産業立地PR活動の詳細と効果は。

**企業誘致対策室長** セミナー会場でポスターやパンフレットを配布し、市長からも来場者や企業に向けてPRをした。5社から企業誘致事業のスケジュールなどの確認があった。

## 農業振興推進 費

**問** 有害鳥獣駆除業務の実施件数と実施エリアは。

**建設産業部長** ノートリア駆除61件、市全域の農地が対象。

**問** 最大被害の想定額は。

**産業振興課長** 被害額150万〜200万を想定している。

**問** 抑制の対策は。

**産業振興課長** 看板を立てて注意喚起をしている。また各委員などに日頃から情報提供し、駆除を進めている。

## 小中学校適正 規模等見直し 検討事業費

**問** 早期に県へ要望し、県になるところを減らすことが大事では。

**産業振興課長** 事前に関係機関と協力しながら進めていく。

**問** 決算額37万9千円。予算の約4割という執行率の原因は。

**教育部長** 当初8回予定していた委員会の開催が、5回となったため。

学校・美和中学校地区委員会では学校選択制の方向性を見出すことができ、甚目寺東小学校・正則小学校地区委員会では意見交換できつつかけづくりができた。

## 教育相談支援 費

**問** 教育アドバイザー事業と教育相談室の教室訪問の内容は。

**教育部長** 教育活動の研究や研修を進めるため、外部から講師や助言者を招くもの。教室訪問は、学校生活や教育活動上の悩み、いじめなどの実態を把握し、学校が行う児童生徒への指導など援助や指導を行うもの。



## 施設整備費

### (庄内川河川 敷公園)

**問** ドッグランの現在の利用状況は。

**都市計画課長** 8月末現在121名の利用登録があり、あま市が約40名、それ以外は周辺市町からの登録となっている。また大型犬用、中小型犬用、競技犬用と3つに区域を区切っている。

## 一般会計

## 討論(要旨)

### 【反対討論】

**野中幸夫** 核兵器禁止条約の締結を目標に掲げる平和首長会議に参加していることや、大規模地震に備えた家具転倒防止の器具取り付けで災害弱者への対応があったこと、

精神障害者1級および2級に対し、全疾患医療費無料化を行ったことのように評価できる部分もある一方で、国税局からの確定申告データの誤りや福祉事務所の手違いによる生活保護費の過払い、小中学校就学援助費のうち新入学児童生徒の学用品費で要保護世帯と準要保護世帯で支給時期が異なるという差別的な扱いがあった。

また、人権尊重のまちづくり行動計画の見直しが行われたが、被差別部落出身を理由に差別を受け、人権を侵害されている人たちがいるという現状認識が追加されている。今後、実態調査や意識調査が行われ、新たな壁を作り出す危険もある中で、インターネットによる差別事象へはプロバイダー責任法で削除するなどして言論で克服していくことが課題となっている。

さらに、美和図書館の

図書購入について指定管理者制度の不理解がある点や、本庁舎建設で周辺施設整備の財政負担が明らかでない点もあり、反対をする。

**岩本一三** 歳入歳出差引額は、9億8656万2498円の決算となっており、不納欠損額は373万673円で、平成27年度の倍以上に達している。収入未済額も、8億5911万2480円と大きな金額が計上されている。このような財源不足を補い財源を確保するためにも、一層の収納率向上に努めるべきである。加えて都市緑化推進事業では成果が上がらず、職員の仕事負担増に見受けられる。

歳出全体では、執行率96%に達しているが、収支均衡の原則から歳出の節制を鑑み、予算編成改革に取り組むべきと申し述べ、反対する。

## 【賛成討論】

**山内隆久** まず、安全・安心に関する施策では、安全安心ネットワーク会議や安全安心大会を開催し、市民と地域団体、行政の連携協働を図り、家具転倒防止器具取り付け支援の実施や、木造住宅耐震化促進事業の継続実施は地道だが重要なことである。

次に健康福祉の施策では、子ども医療費の現物給付をはじめとした制度の拡充が図られた。子育て支援対策でも、児童クラブの拡充や市民病院に病児病後児保育室の設置などが実施された。

さらに教育・生涯学習の施策では、小中学校の体育館のつり天井改修や老朽化施設の改善が図られ、また平成28年6月からのシルバーカレッジ開校により、住民の活力増進に寄与している。

その他にも新庁舎建設に伴う地区整備計画が策

定されたことや、産官学連携自動走行実証実験があま市モデルとして始められ、地域のPRになったこと、企業誘致に向けた委員会や説明会の開催などの活動活性化が図られた。

以上、多くの有意義な施策が行われ、総合的に評価できるものであり、今後も健全で持続可能な財政運営を要望し、賛成する。

## 採決結果

賛成多数により、原案のとおり認定。

## 国民健康保険特別会計

## 討論(要旨)

### 【反対討論】

**亀卦川参生** 国からの保

険基盤安定繰入金、低所得者の保険者支援金が約1億5200万円あるが、低所得者の国保税軽減のために使われておらず、国保税が極めて高い率になっている。

また、3月31日現在、受診時に10割負担となる資格証明書の発行が2件、国保証が本人に渡っていない留め置きが70件あったが、現在まだ22世帯に渡っていない。これらの方は、国保証がなければ医者にかかれない方がほとんどである。

けがや病気の際、早く医者にかかり軽症のうちに治療することが高齢社会を支え健康寿命を延ばすことにつながるため、留め置きゼロを目指した努力を求め、反対をする。

### 【賛成討論】

**森耕治** 被保険者の年齢構成や医療水準が高く、保険税の負担能力が弱い

方が多い問題もありながら、国民生活の基盤的な役割を果たしている。そのような中で、特定健診やデータヘルス事業など健康保持、病気予防の効果的な事業を展開し、また国保税の滞納者に対し

納付相談や、分納の措置、短期被保険者証の発行により市民の健康と権利を守っており、評価できる。今後は国民健康保険税の収納率向上と自主財源確保への努力を求め、賛成する。

## 採決結果

賛成多数により、原案のとおり認定。



## 後期高齢者医療特別会計

## 討論(要旨)

### 【反対討論】

**野中幸夫** 前年に比べ保険料が1人当たり5015円値上げされ、年額8万765円となった中、差し押さえが2件、短期保険証が17人、保険証の未渡しが1件ある。

制度対象の75歳以上の方は基本的に、年金生活であるため、年金の引き上げや、無条件での保険証発行を行わなければ命にかかると申し述べ、反対をする。

### 【賛成討論】

**後藤哲哉** 共同連帯の理念に基づき、適切な医療の給付などを行う制度であり、将来にわたり安心して医療給付を受けられ

る医療保険制度を堅持するために、必要不可欠なものである。

当決算は被保険者の医療給付にかかる費用および健康診査事業など、市が行う事務にかかわる経費を計上しているものであることや、保険料収入における普通徴収の収納率も0・24%向上が見られ、健全な運用が図れるよう被保険者に適正な納付勧奨が執行されているため、賛成をする。

## 採決結果

賛成多数により、原案のとおり認定。



# 一般会計補正予算

財政調整基金費 10億4899万5千円  
施設整備費／小学校費 4117万5千円  
ごみ収集対策費 99万4千円  
など

平成29年度一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出それぞれ10億9095万2千円を追加し、総額を289億735万3千円とするもので、全員賛成により原案のとおり可決されました。

## 主な質疑

**問** 学校管理費で甚目寺南小学校南側の土地を購入するとあるが、何平方メートルで使用方法は。  
**教育部長** 535・54平方メートルで、運動場および駐車スペースとして活用を考えている。運動場では軽易な運動のできる場として使用し、駐車スペースは4台程度の駐車場とする予定。

**問** 甚目寺南小学校の運動場の児童1人当たりの面積は狭いのか。

**教育部長** 市内12小学校の1人当たりの面積平均は27・9平方メートル。甚目寺南小学校は8・6平方メートルで極めて狭い。

**問** 市内平均の3分の1以下だが、さらに拡張の計画はあるか。

**学校教育課長** 甚目寺南小学校は市内で1番児童数が多く、1人当たりの運動場面積が少なくなる。

など

# 新学校給食センターに係る工事

## 請負契約の締結を可決

## 主な質疑

**問** 競争入札ではなく、プロポーザル方式を採用した理由は。

**教育部長** 本整備事業は、専門的知識や技術を必要とし、公示段階で最適な仕様の確定が困難であったことから、従来の価格競争に加え民間活力を生かした技術提案の競争も含め、総合的な評価により事業者を選定していくことが最適だと判断したため。

**問** プロポーザル方式にしたことによる、行政のメリットは。

**教育部長** 調理室設計の専門性と安全性が重要であることから、施工実績を生かし、市の要望を理解した適切な調理設備計画が提案された。

**問** 事業内容の中にある、開業支援の内容とは。

**教育部長** 施設、各種設備、備品などの取り扱いに関する説明および運営に関する助言、マニュアル作成、習熟のための研修開催、調理リハーサル支援など。

**問** 設計監理企業が代表企業と同じ契約。建設企業が独立して監理することが手薄になるのでは。

**教育部長** 実施設計を熟知していることで施工者

へ設計意図が円滑に伝達でき、効率的に事業が推進できると考える。また品質確保推進のため、工事監理は発注者支援の一環で、愛知県住宅供給公社に工事監督補助を委託し、第三者性の確保に努めている。

さらに、外部有識者も含めた設計検証委員会を立ち上げ、事業者が作成する設計図を第三者の目から検証する体制をとっている。

**問** くいを残すと、不同沈下の原因になりやすいのでは。

**学校給食センター課長** 建設予定地周辺は軟弱地盤であるため、建物基礎ぐいおよび液状化対策の固化工法などを行っていく。



**問** 事前調査時に土壌調査はするのか。また残存するくいは何本で撤去費用は。

**学校給食センター課長**

諸法令に列記された土壌調査を行う予定。

残存くいは、6メートルが337本、2メートルについては本数を把握していない。また撤去費用は、コンクリートがらの処分などを含め、およそ700万円。

## 討論(要旨)

### 【反対討論】

**亀卦川参生** 新学校給食

センター基本構想でDB方式では契約規則などの検討としておきながら政府からの通達を優先させ、改正などを行っていない。また小中学校の児童生徒に給食を提供するとき、食育が中心にならないければいけないという責任を

持つ観点から直営にすべきである。加えて、運営主体が民間の場合、大災害時に被災された住民に食事の提供業務を行うことが可能か全く不透明である。その他にも0157などが混入した場合や、軽微でない設備の故障が発生した場合には、市内全ての小中学校、保育園の給食が停止してしまう。食材でも1万2千食分を仕入れるには大変な努力が必要となる。

最後に七宝・美和地区の市立保育園の給食は自園方式を維持し、甚目寺地区では自園方式に戻す努力をすべきと考え、反対をする。

## 採決結果

賛成多数により、原案のとおり可決。

# 開かれた市議会へ vol.2

## ～議会改革を推進～

あま市議会では、議会改革を進めており、本コーナーでは市民の皆さまへ進捗状況についてお知らせをしております。

## 視察研修報告

### 議会運営委員会

- 視察日 平成29年7月18日(火)
- 視察先 三重県四日市市議会

議会運営委員会として三重県四日市市議会を視察し、議会改革に至る経緯や議会基本条例などについて説明を受けました。その後、委員から議会基本条例制定後の議会や議員個人の考え方の変化、反問権の現状などに対する質問がありました。議会改革を進める中で、大いに参考となる視察になりました。

#### <補足>

反問権とは…議長の許可を得て、答弁者(市側)が一般質問や議案質疑において、質問者(議会側)に問い返すことのできるもので、論点や争点を明確にするため用いられる。

## 四日市市議会



(上) 説明会の様子

(下) 正副議長、議会運営委員集合写真

# 新庁舎建設特別委員会 議会機能に関する小委員会

## 視察研修報告

### 犬山市議会



委員会室



説明会の様子

- 視察日 平成 29 年 8 月 3 日 (木)
- 視察先 愛知県犬山市議会・瀬戸市議会

新庁舎建設特別委員会議会機能に関する小委員会として、議会フロアを調査・研究するため、本市と同規模で近年議会フロアを竣工された犬山市議会・瀬戸市議会へ視察に赴きました。

議場や委員会室の利活用、議場システムなどについて説明を受け、内部を見学しました。その他、実際に利用する中で浮き彫りとなった問題点や工夫点についてご指導をいただき、意義深い視察となりました。



(上) 議場見学

(下) 全員協議会室

### 瀬戸市議会



議長、特別委員長、小委員集合写真

各議員の顔写真の下にQRコードを掲載しています。このQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の一般質問動画をすぐに視聴することができます。

**森 耕治** 議員 (11 ページ)

1. あま市南部のまちづくりについて

**松下 昭憲** 議員 (12 ページ)

1. 方領地区の工業団地について

**亀卦川 参生** 議員 (12 ページ)

1. 全小学校に放課後子ども教室の開設を
2. ごみ減量化への努力を求める

**近藤 陽一** 議員 (13 ページ)

1. 人権教育などについて

**橋口 紀義** 議員 (13 ページ)

1. あま市巡回バスの見直しについて

**伊藤 嘉規** 議員 (14 ページ)

1. 県・市道の進捗および見直しについて

**倉橋 博** 議員 (14 ページ)

1. 県道・市道整備について

**足立 詔子** 議員 (15 ページ)

1. 行政情報アプリについて

**山内 隆久** 議員 (15 ページ)

1. 多文化共生について

**山本 雄一** 議員 (16 ページ)

1. あま市民病院について

**野中 幸夫** 議員 (16 ページ)

1. 踏切などの安全対策について

問 都市計画道路安松鷹居線の未整備部分である川部地区内は、道路幅も狭く歩道もないため、非常に危険な状態である。名古屋津島線バイパス整備と一体的に取り組むことが重要では。  
建設産業部長 バイパス整備の進捗に合わせ、地権者のご理解とご協力をいただき、計画的に進めていきたい。

問 名古屋津島線バイパス七宝工区開通時に予想される信号位置は、整備済みの部分も含めた危険箇所などの問題点について、今後対応してもらえるか。  
建設産業部長 信号は七宝庁舎南交差点から西へ、川部地区内に1カ所、下田地区内に2カ所で計3カ所の交差点道に設置が検討されている。  
都市計画課長 バイパス整備関連の問題における相談や要望に対しては、整備主体である県と説明や対応に努めていく。



森 耕治 議員



あま市南部のまちづくりプロジェクト

市長 大変重要な事業の1つであり、計画的にしっかりと取り組んでいく。

問 七宝庁舎の機能移転が決定しているが、名古屋市高速鉄道6号線(地下鉄など)の計画では庁舎南側を駅舎として想定されている。この計画がある以上、整合性がとれるように慎重に考えてもらいたい。新庁舎建設後の跡地利用は。

企画政策課長 社会情勢の変化といった将来の状況を想定し、最適な活用方法を検討しているが、現在は未定。



安松鷹居線(川部方面)

# 方領地区の工業団地について



松下 昭憲 議員



26年度に調査を行った。全部で32カ所の試掘を行い、調査の結果、県教育委員会から本発掘調査の必要はないという回答をもらっている。

**問** 今後の販売計画は。

**産業振興課長** 平成32年までに開発要件を整え、33年度には事業用地造成者と基本計画を締結し、34年度以降に造成を再開、販売をしていく。

**問** 企業誘致への工夫は。

**産業振興課長** 固定資産税以外にも法人税なども含め、緩和策を考えている。

**問** 工業団地予定地は、東海豪雨の際に水があふれた森遊水地の南側にあるが、今まで貯水池の役割を果たしていた田んぼを5万坪も埋め立てることになり、水の行き場がなくなる。地域の人の生命や財産を守ることができるのか。

**建設産業部長** 水田の遊水池機能が失われることになるため、本年度の土地利用構想検討業務において、農地の高さや現況排水系統の調査を行い、降雨流出量の算出、調整池や排水路などの検討を進めている。

**産業振興課長** 福田川の排水施設は現在6カ所あり、排水機場の新設や更新をし、排水能力の低下を招かないよう進めていきたい。

**問** 一部に方領遺跡があるが、発掘調査は適切な方法で行われているか。

**生涯学習課長** 文化財保護法に基づき、



方領地区の工業団地予定地

# 全小学校に放課後子ども教室の開設を



亀卦川 参生 議員

②ごみ減量化



①子ども教室



**問** 先の通知には、児童クラブと放課後子ども教室の一体型を中心に進めるとある。住民が行った調査では、七宝地区だけで140人近い利用希望がある。真剣に検討を。

**市長** 放課後子ども教室が大事なことは重々承知をしているが、幼保小一体となり小1の壁を打破するため、まずは、児童クラブを優先的に整備したい。

他に「ごみ減量化への努力を求める」質問もしました。

**福祉部長** 調査は実施していない。1

教室20人程度が目安。

**問** 国や県からの連絡で力を入れていけるものがある一方、なぜ放課後子ども教室について真剣な検討ができないのか。また、平成26年7月の文科省・厚労省からの通知では、放課後子ども教室についても計画的な整備が必要としており、市民からも多くの要望がある。市内の全ての小学校で放課後子ども教室を実施すべきでは。

**市長** 待機児童や地域の実情などの問題があり、児童クラブを優先して整備することが、今は課題だと考えている。



## 人権教育などについて



近藤 陽一 議員



などを開催し、人権教育に対する共通理解や啓発について学習を深めている。

**問** 甚目寺中学校の校門に人権尊重モニュメントが設置されているが、設置していない学校があるのは、なぜか。

**学校教育課長** 甚目寺中学校を市内全小中学校の人権教育をリードする先進校として位置づけ、モニュメントを設置している。他の学校については、人権タイムの実施、やくそくノートの活用、スリーハート運動など、各学校の実情に合わせて人権教育・啓発に取り組んでいる。

## あま市巡回バスの見直しについて



橋口 紀義 議員



**企画政策課長** 高齢者や障害者など、車で移動できない方のために必要との意見や、運行していない地域でバス停の設置を望む意見が多かった。

**問** ルート変更の案内は、

**企画政策課長** 市公式ウェブサイトでの公表やリーフレットの全戸配布、各施設や停留所および車両内への掲示、ぎずなネットでの配信などを予定。

**問** 停留所やバスを目立つようにする検討は、

**企画政策課長** 本格運行の際に検討したい。

**問** 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律の基本理念をどのように理解し、政策に取り入れているか。また、どのような人権教育の目標設定をしているのか。

**教育部長** あま市教育大綱および教育立市プランの重点施策の1つである「人に思いやりを持ち、ともに生きる子どもを育む」を掲げ、人権教育を推進している。また、人権教育研究会では「人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係を育む教育」をテーマに、人権を尊重した教育への視点を重視し、目標を設定、人権教育の推進と充実を図っている。

**問** 人権教育の全体計画、年間指導計画の内容は、

**学校教育課長** 小中学校の教職員研修を中心に、教職員総会および人権教育研究会総会、海部地区人権教育講演会



人権尊重モニュメント

**問** 試行運行開始からの利用人数は、

**企画財政部長** 西部巡回ルート左回り4284人、右回り4222人。東部巡回ルート左回り2411人、右回り2197人。

**問** ルートの見直しの検討状況は、

**企画財政部長** 市民アンケートや意見交換会を経て再度検討し、あま市地域公共交通会議で協議され、合意を得た。

**問** 現状のままで運営していくのか。

**企画財政部長** まだ決まっておらず、市民の意見や利用状況などを踏まえ、運行形態全般の見直しも考えている。

**問** オンデマンド方式は、無駄な走行を抑え、利用者の時間短縮になる利点があるが、検討したのか。

**企画財政部長** 先進自治体への視察も行ったが、アンケートでは定時定路線運行を望む回答が多かった。

**問** アンケートで最も多かった要望は、

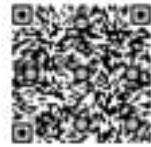


あま市巡回バス

## 県・市道の進捗および見通しについて



伊藤 嘉規 議員



**建設産業部長** 今後、旧市民病院跡地利用計画などが進む中で、歩道の必要性も含めて考える。

**問** 新庁舎建設予定地周辺のアクセス道路整備は、南北線および西部方面しか検討されていない。東部方面から必要では。また、江上田地区からの道路拡幅も必要では。

**企画財政部長** 周辺道路整備の検討をしたが、橋の新設や沿線上の市民への影響などから、非常に難しい。

**土木課長** 利便性の課題は認識をしている。

## 県道・市道整備について



倉橋 博 議員



**問** 進捗状況と今後の見通しは。

**建設産業部長** 県道津島七宝名古屋線伊福交差点改良は、平成28年度末までの用地取得面積は約25%、県は平成33年度末までの供用を目標としている。

名古屋津島線バイパスは、順次用地買収が進んでおり、早期供用開始に向け引き続き、事業促進に必要な予算が確保されるよう県に要望していく。

**土木課長** 主要地方道あま愛西線坂牧東交差点改良工事は、順次用地買収を進めており、平成28年度末までの用地取得面積は約42%。今後は平成33年度末の供用開始を目標に、県が用地買収を進めている。

**問** 未整備道路の整備計画は。

**建設産業部長** 県道須成七宝稲沢線は、名鉄津島線北側区間で地元組織と県道整備に関する課題や周辺のまちづくりなどの検討をし、取りまとめを進めて

いる。今後は県に対し、早期事業化に向けた具体的な要望を行っていく。

**土木課長** 丹波交差点改良、篠田交差点改良ともに地元から要望を受けており、候補地に挙がっていると県から聞いている。

**問** 狭あい道路の整備は。

**都市計画課長** 土地区画整理事業や地区計画、建築基準法のセットバックに伴う整備により解消を進めている。今後も、良好な市街地の形成や生活環境の向上に努めていく。

**問** 県道西今宿東条線はいつ完成するのか。進まない原因は。東側の萱津地区の発展を妨げているか。

**建設産業部長** 平成33年度末の供用開始予定で、地権者と用地取得に向けて交渉中。条件面で折り合いがつかず、未買収地の点在が原因。完成後は安全性が改善されて往来も容易になり、東側の発展につながるかと期待している。

**問** 交差点が危険で警察の指摘により、巡回バスが上萱津を通らなくなった。上萱津・中萱津地区では、移動が不自由な高齢者は買い物や病院にも行けない。その上、道路整備が遅れており、余計に不便になっているが、考えは。

**土木課長** 県に対し、一刻も早い完成を要望していく。

**問** 市道新居屋甚目寺線の甚目寺駅北西の信号北側の歩道を南側のように拡幅できないか。



甚目寺駅北西信号の北側道路



主要地方道あま愛西線坂牧東交差点

## 行政情報アプリについて



足立 詔子 議員



**問** 総務省の平成28年度情報通信白書によると、スマートフォン（以下「スマホ」）の保有率は72%となり、今後も利用者が増えていくと思われる。スマホでは、さまざまなアプリケーション（以下「アプリ」）により、その場で情報を得ることができるため、今後もアプリの活用が期待をされている。全国の自治体では、スマホを利用した行政情報アプリが活用され、登録をするなどで防災情報や子育て支援など、生活にかかわる情報を受けられることができる。あま市も行政情報アプリを導入し、住民サービスの向上に努めるべきでは。

**企画財政部長** 広報紙をスマホで、手軽に読むことができる行政情報アプリの導入を検討している。今後、子育て情報や防災情報など幅広い分野を通知するアプリや、その他スマホを活用した情報発信の研究を進めている。

**問** どのような行政情報アプリを導入するのか。また、導入時期は。さらに、県内でのアプリ導入状況は。

**企画政策課長** 多くの自治体に取り入れている無料アプリ「マチイロ」の導入を検討している。気軽に広報などの情報を手に行うことができ、導入や保守には費用もかからず、利用者も通信費のみで利用できるものとなっている。導入の時期は、今年度中を目指している。また、県内38市中27市が、さまざまな分野のアプリを導入している。



## 多文化共生について



山内 隆久 議員



**問** グローバル化により、多文化共生はすでに地域の課題。あま市の現状は。

**企画財政部長** 外国籍住民は増加傾向にあり、平成28年末時点で1885名。「在住外国人のための生活ガイドブック」を英語、中国語、ポルトガル語で発行し、窓口では簡単な日本語で意思疎通を図っている。外国人を含め、全市民が安心して暮らせるまちづくりに積極的に取り組んでいきたい。

**企画政策課長** 市内における外国人の人口比率は、平成28年末時点で2.13%。

**問** 外国人とともに日本人への外国文化理解や他文化の受容、啓発が大切では。

**企画政策課長** あま市国際交流協会では、甚目寺地区や美和地区で日本語教室や外国人相談を実施。また、料理教室や餅つき大会など外国人と日本人の

交流会や、防災啓発、日本語ボランティア養成講座など、相互理解のための活動を行っている。

**企画財政部長** 国際交流協会の支援や協働へ積極的に取り組んでいきたい。

**問** 市の人口推移からも外国人は多国籍化し急増。市役所でも英会話など、職員の資質向上が必要では。

**市長** 多文化共生は、あま市にも必ずやってくるので、お互いがそれぞれの価値観や個性を尊重する人権尊重のまちづくりのために真摯に前向きに取り組んでいきたい。



在住外国人のための生活ガイドブック

## あま市民病院について



山本 雄一議員



**問** あま市民病院改革プランでは、改善活動の効果がなければ経営形態の見直しが必要と示されている。土地・建物などを売却する民間譲渡ではなく、市が土地・建物などを所有し、管理・運営をプロに任せる、公設民営である指定管理者制度の募集が現在行われているが、募集要項などを取りに来ている、現地見学をした法人数はいくつか。

**市民病院事務局長** 3法人となっている。

**問** 指定管理について平成29年12月議会で議決されると、平成31年4月から指定管理が開始される。その1年3カ月ほど、安定した医療サービスを提供することが重要であるが、対策は。

**市民病院事務局長** 公的医療機関の役割を担う必要性から、医療従事者一人一人の力が必要であることを丁寧に説明し、理解してもらえよう努力する。



あま市民病院

**問** 改革プランでは、指定管理者制度が経営改革に最善だと示された。指定管理者に期待する目指すべき病院像は。

**市長** 指定管理者には2次救急医療の実施と、名古屋第一赤十字病院との連携強化により、地域医療を支える取り組みを行ってほしい。また、「医の心を持って地域の人々の健康と福祉を護ります」という市民病院の基本理念を実現するために、地域から求められる医療機能を充足してほしい。

## 踏切などの安全対策について



野中 幸夫 議員



**問** 名鉄青塚駅や七宝駅の踏切で死亡事故が起きている。踏切の安全対策を強化すべきだが、対策は。

**総務部長** 平成24年9月25日七宝駅東側踏切、本年7月23日、多くのあま市民が利用する津島市内の青塚駅東側踏切で、尊い命が失われている。交通事故防止啓発では、踏切事故を取り上げていないが、今後広報やホームページで安全対策の啓発をする。また、名鉄と協議し安全対策をしていきたい。

**問** 七宝駅は、駅員が配置されておらず、駅構内の踏切の安全対策がおろそかになっているため、名鉄へ対策を強力に要請すべきでは。また、朝の時間帯に踏切での特別な対策や人的配置が必要では。

**安全安心課長** 現在、駅近くの踏切への人員配置は行っていないが、ボランティアの活動を含め検討していきたい。

**問** 名鉄西枇杷島駅周辺では、清須市交通安全協会の方が、朝7時から5〜6人で交通安全指導をしており、駅構内も駅員が注意喚起をきちんと行っている感じであった。踏切対策は他の交通安全対策と違い、後回しにされている。死亡事故の状況から見ても、重点的な対応が必要では。

**安全安心課長** ボランティア団体と協議や連携をとっていく。また、他市の交通安全担当者との研究会や協議会で、連携を考えていきたい。



名鉄七宝駅内の踏切



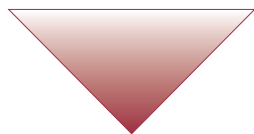
# 追跡 一般質問

## その後どうなった？

1年前に行われた一般質問の結果を報告します。

### 質問

集中豪雨の規模が拡大しており、現状の排水能力で十分か。鷹居排水機場の排水能力は。



### こうなった

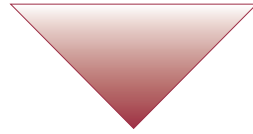
県営湛水防除事業宝南1期地区として、平成22年度より更新事業が実施されている。29年度はベルトコンベア、ホッパー、ゲートの設置および場内整備を行い、本年度整備完了の予定。今後も訓練を通し、機動的対応の確保に努める。



鷹居排水機場

### 質問

産後ケアの必要性が高まっているが、妊娠期から切れ目のない子育て支援について、今後の取り組みは。



### こうなった

平成29年4月から新生児訪問などの母子保健事業を通じ、支援が必要な方に対し、助産師による訪問や電話での授乳相談、産後の心身サポート、育児相談を行っている。



美和保健センター

# 審議結果

## ■提出された議案と審議結果

【結果の表示記号】 ◎全員賛成 ○賛成多数 △賛成少数

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
認定第1号	平成28年度あま市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	議案第57号	平成29年度あま市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	◎
認定第2号	平成28年度あま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	議案第58号	平成29年度あま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○
認定第3号	平成28年度あま市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	◎	議案第59号	市道路線の変更について	◎
認定第4号	平成28年度あま市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	◎	議案第60号	工事請負契約の締結について	○
認定第5号	平成28年度あま市営住宅管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	◎	請願第3号	あま市が実施済み及び計画中の大型公共事業の費用負担による今後の市財政見通しについて市議会での厳密な検証を求める請願書	△
認定第6号	平成28年度あま市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	◎	請願第4号	あま市参加の五条広域事務組合が行う「斎場建設事業」実施の賛否についてあま市民住民投票の実施を求める請願書	△
認定第7号	平成28年度あま市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	◎	請願第5号	あま市全学区に放課後子ども教室の開設を求める請願書	△
認定第8号	平成28年度あま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	陳情第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書	○
認定第9号	平成28年度あま市水道事業会計決算の認定について	◎	陳情第2号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	○
認定第10号	平成28年度あま市病院事業会計決算の認定について	○	陳情第3号	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	○
議案第51号	土地区画整理事業に伴う字の区域の変更について	◎	発議第2号	道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書の提出について	◎
議案第52号	平成29年度あま市一般会計補正予算（第2号）	◎	発議第3号	北朝鮮の6回目の核実験及び累次の弾道ミサイル発射に対し、日本政府に国民の生命・身体・自由・財産を守るために必要な措置をとることを求める意見書の提出について	◎
議案第53号	平成29年度あま市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	◎	発議第4号	義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について	○
議案第54号	平成29年度あま市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	◎	発議第5号	国の私学助成の増額と拡充に関する意見書の提出について	○
議案第55号	平成29年度あま市営住宅管理事業特別会計補正予算（第1号）	◎	発議第6号	愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書の提出について	○
議案第56号	平成29年度あま市介護保険特別会計補正予算（第1号）	◎			

# 9月定例会議案等

【賛否の分かれた議案】 ※ 下記以外の案件は、全員賛成で可決

議案 番号	公明党			市民 クラブ			日本 共産党		政和会												無				
	橋口紀義	柏原功	足立詔子	八島進	松下昭憲	岩本一三	野中幸夫	亀卦川参生	宮地直宣	森耕治	山本雄一	後藤哲哉	山内隆久	近藤陽一	吉川景男	佐藤貞夫	寺本隆男	加藤正	倉橋博	伊藤嘉規		横井敏夫	後藤幸正	藤井定彦	林正彦
認1 定号	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認2 定号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認8 定号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認10 定号	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
58号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
60号	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請3 願号	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請4 願号	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請5 願号	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
陳1 情号	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
陳2 情号	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
陳3 情号	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発4 議号	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発5 議号	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発6 議号	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※表示について ○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席 -：議長は採決に加わりません。

※網掛けは、討論を行った議員です。

※会派は届出順。会派名は以下のとおり表記しています。

公明党（公明党あま市議団） 市民クラブ（あま市民クラブ） 日本共産党（日本共産党あま市議団） 政和会（政和会） 無（無会派）

# あなたも議会を傍聴しませんか？

<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>

●**議会中継**…本会議での一般質問の様子や最終日の採決の様を、ケーブルテレビのクローバーチャンネル(デジタル111チャンネル)にて放映します。放映は生中継とその日の午後7時から再放送しています。

(インターネットでも録画配信を行っています。※詳細は下記へ)

●**会議録検索**…本会議や委員会の会議録を公開しています。探したい言葉を入力すれば容易に検索することができます。(あま市議会HPへ)

今、あま市ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのであろう。あなたの身近なことも議会で議論されているのかもしれない。あま市役所基目寺庁舎3階の議会事務局で、住所・氏名などを記入していただくだけで、どなたでも傍聴できます。白熱した質問と答弁を、あなたもぜひ見に来られては…。

音声の間こえにくい方のために、赤外線補聴システムを設置しています。ご希望の方にはヘッドホン付き受信機をお貸ししますので、当日、傍聴受付までお申し出ください。

※9月議会の傍聴者数(委員会含む) 延べ23人

次回の定例会は、**11月28日(火)**からの予定です。

## スマホ・タブレットでも市議会中継を！

### ■ケーブルテレビ「クローバーテレビ」生中継

※デジタル111チャンネルにて放映しています。  
(当日午後7時から再放送あり)

### ■インターネット議会中継のページ ※おおむね10日後に配信予定

(録画配信を行っています) ↓

<http://www.ama-city.stream.jfit.co.jp/>



## お気軽にご覧いただけます。

※編集委員会では、より開かれた議会を目指し、分かりやすい議会情報提供に努めております。「議会だより」について市民の皆さま方のご意見やご感想をお待ちしております。よろしくお願いたします。

委員長 伊藤 嘉規  
副委員長 足立 詔子  
委員 亀卦川 参生  
" " " " " 山本 雄一  
" " " " " 八島 進  
" " " " " 加藤 正  
" " " " " 横井 敏夫  
" " " " " 後藤 幸正

■議会だより  
編集特別委員会

## 12月定例会予定

11月28日(火)	開 議 案 説 明
12月5日(火)	一 般 質 問
12月6日(水)	議 案 質 疑
12月11日(月)	総務文教委員会
12月12日(火)	厚生委員会
12月13日(水)	建設産業委員会
12月19日(火)	討 論 ・ 採 決 閉 会

※日程は変更となる場合があります。